

# 東京

## 「其の日」暮らし



### 東京果物事情

東京に住み始め、二度目の夏。私の住む町では「みーんみんなみん・・・」とみんなの蝉の鳴き声ばかりが聞こえます。かたや大阪の義母と話していると、たまに後ろから「じーわじゃわじゃわじゃわ！」とあぶら蝉の鳴き声が聞こえてきて「蝉も大阪とは違う種類が鳴いているんやわ。おもしろいやん」とのんびり過ごしていました。蝉といえば、なぜテレビドラマで夏の風景の時にはみんな蝉が鳴いている場面が多く、なんでみんな蝉ばかりなん？日中の大阪はあぶら蝉がこんなに鳴いているのに。と疑問に思っていました。東京の日中はみんな蝉が多いのだ！とナットク？

普段身近になかったモノがあつたり、なかつたり、蝉同様、果物でも東と西の違いはありました。

私の好物の中に果物があります。特にスモモ類と梨は好物です。上京して初めて生のアンスを売っているのを見ました。大阪では見たことがなかったので、ものすごく感動しました。店頭に出ている時期が短いのか「重いから明日買おう」と買わずにいると、翌日買いに行ったときにはもうなくなっている。悔しい思いをしてきました。そして、先般・・・買うことができたのです。東京の夜店に必ずといって良いほど出ている「あんず飴」。あの甘酸っぱくておいしい「アップリコットジャム」。その元となる果実はスモモと同じくらいの大きさ。皮は「あんず色」で産毛が生えていて、甘そうなおい。本物を手にとって、やっとなめることができる！どんなステキな味なのか？ 結果は・・・ジャムやドライフルーツに加工した方が私の好きな味と齒ごたえと思ってしまうほど・・・残念無念。当たり外れもあるので、来年は出始めの頃にリベンジをしようと固く誓ったのです。

梨は、というと、大阪でよく目にしたのは緑色のもの。

二十世紀梨です。そうして秋も深まる頃に茶色い梨が出回っていました。東京もそうだと勝手に思い込んでいました。ところがどの店も早い時期から茶色い梨ばかりが並んでいるのです。茶色い梨は1秋に3〜4つ位しか食べていなかったのです。うれしい誤算でした。最初のうちはこの誤算にとっても喜んでいました。が、どんなにおいしくても、毎日のように食べていたら、たまにはさっぱりと甘い緑の梨が食べたいっ！！そう思っても近くのスーパーや八百屋さんで緑の梨が並んだのを見たことがないのです。産地が遠く



あんず



二十世紀梨

離れているからかなあ。などと思いつつ、うれしいはずの誤算は、また、別の誤算でもあることに気づくのです。

PUKIPUKI・N

掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。

(株) ファッションビジネス・御堂筋新聞